



〒488-0883 尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851



2018年 6月

6月の観望天体

夕空に明るく輝く「宵の明星」金星を見よう!

日が沈みあたりが暗くなると西の空に一番星が輝きはじめます。金星です。夕方に見える金星を「宵の明星」といいます。天体望遠鏡で見ると半月のように欠けているのがわかります。

金星は9月ごろまで西空に観望できます。その間に、金星は星座を移動していきます。1等星や星団と並ぶこともあります。6月上旬にはふたご座のカストルとボルックスの近くを通ります。7月には、しし座のレグルスに近づきます。

また、6月16・17日には三日月と並びます。地球照(三日月の暗い部分が地球に反射した太陽の光に照らされうっすらと見える現象)の細い月と明るい金星が、ほのかに赤い夕空に浮かび上がる美しい光景を見ることが出来ます。7月16日、8月14日にも地球照の細い月と並びます。



太陽からの距離	約1億0820万km
公転周期	約225日
自転周期	約243日
赤道直径	約12104km
衛星の数	0個

6月の夜間観望会

日曜日 19:30~20:30

- ※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
- ※小中学生は保護者と一緒に来てください。
- ※天候や機器の整備等で中止する場合があります。
- スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
3日	M13、木星 など M13は、ヘラクレス座の球状星団。数十万個の星の集まりです。
10日	金星、木星 など 宵の明星が西の空に輝きます。
17日	三日月(地球照)、金星 など 地球照は三日月の暗い部分が地球の反射光でぼんやり見える現象です。
24日	木星、月 など 南の空に木星と月が仲良く並びます。

6月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をH α フィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しよう。

火・土・日曜日、祝日

10:00~12:00
13:00~15:00



6月の星空

2018年6月17日 午後8時

6月の惑星

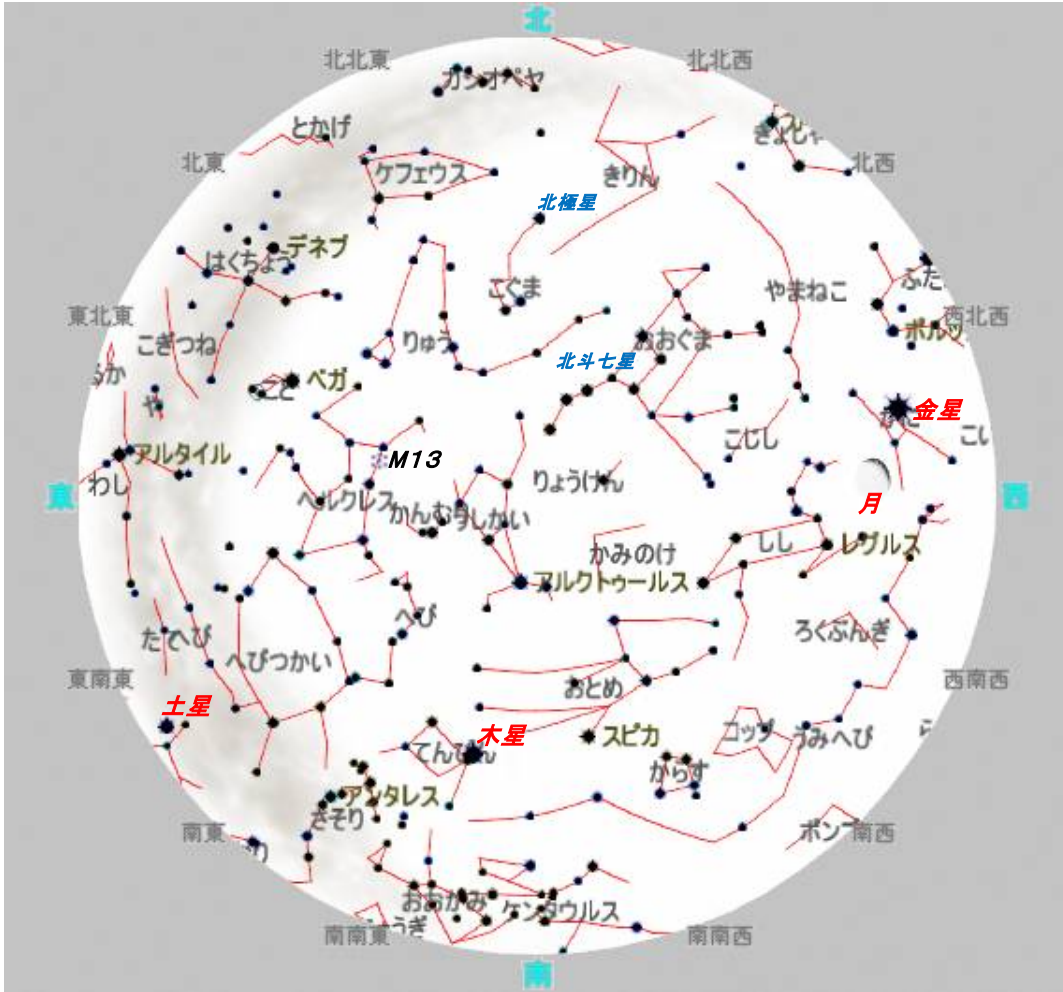
- 水星 宵の西の空
- 金星 宵の西の空
- 火星 夜中の東の空
- 木星 宵の南の空
- 土星 宵の東の空
- 天王星 明け方の東の空
- 海王星 明け方の南の空

金星は「宵の明星」として高度を上げて、夕方から西の空でひととき明るく目立っています。

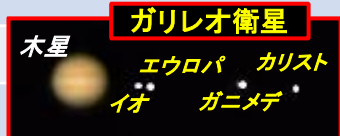
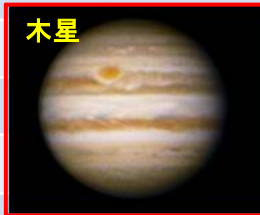
南には「夜更けの明星」木星がおとめ座のスピカの近くで明るく輝いています。

土星は27日に衝を迎えます。衝とは、外惑星が地球から見て太陽の反対側にきたときです。このときはほぼ一晩中観察することができ、絶好の観望期になります。今年の土星は環が大きく開き(傾き)、カッシーニの空隙など環のようすがしっかり観察できます。

夜中には火星も昇ってきます。



日	曜	月齢	6月の主な天文現象
1	金	17.0	月が土星に接近
2	土	18.0	
3	日	19.0	月が火星に接近
4	月	20.0	
5	火	21.0	
6	水	22.0	(芒種) 水星が外合
7	木	23.0	下弦の月
8	金	24.0	
9	土	25.0	
10	日	26.0	海王星が西矩
11	月	27.0	(入梅)
12	火	28.0	
13	水	29.0	
14	木	0.7	新月
15	金	1.7	



日	曜	月齢	6月の主な天文現象
16	土	2.7	月が金星に接近
17	日	3.7	
18	月	4.7	
19	火	5.7	
20	水	6.7	上弦の月
21	木	7.7	(夏至)
22	金	8.7	
23	土	9.7	
24	日	10.7	月が木星に接近
25	月	11.7	
26	火	12.7	
27	水	13.7	土星が衝
28	木	14.7	満月 月が土星に接近
29	金	15.7	火星が留
30	土	16.7	

21日 夏至

北半球の日本では、春分から秋分までの間、太陽は真東より北側から昇り、真西より北側に沈みます。夏至には日の出、日の入りの方角がもっとも北側になり、昼間がいちばん長くなります。

